

上州 太田

【公益社団法人 太田青年会議所2024年度スローガン】

60年の想いを紡ぐ、魅力ある組織と新たな挑戦!

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、OBの皆様、行政、地域の方々をはじめといたします関係各位の皆様方には公益社団法人太田青年会議所の運動に対しまして、多大なるご支援、ご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。また公益社団法人太田青年会議所メンバーのご家族、お仕事先での関係者の皆様方におかれましては、日頃、大変ご苦勞をおかけしております。その中でも、私たちの活動にご理解、ご協力いただきまして、心より感謝申し上げます。本年度も変わらぬ、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度、公益社団法人太田青年会議所は創立60周年を迎えることとなりました。

これも60年の運動の中で諸先輩方に紡いでいただいた太田青年会議所に対する想いや、支えてくださる地域の方々のおかげでここまで来れたのだと思います。そのひとつひとつに感謝をすると共に、これから先の未来へ繋ぐ想いを年頭にあたりまして、改めて私から皆様に申し述べたいと思います。

近年、世界的大流行をもたらした新型コロナウイルスは終息を迎え、今まで制限されていたJC活動もようやく本来の姿を取り戻すことができます。しかし、すべてが以前と同じような姿ではなく、ITやデジタルの分野が急激な浸透を見せ、私たちの生活も大きく変わりました。目まぐるしく変化していく時代の中、地域社会の声に応じてきた太田青年会議所だからこそ、今までの概念にとらわれない新たな挑戦をしていくべきだと考えます。その中でも組織としての改革は必須であり、良いものは積極的に取り入れていく必要があります。「青年会議所」と名の通り、私たちは20歳から40歳までの多種多様な青年達が集い、

熱い議論を交わし、活動することで社会貢献をしてきました。今ではweb会議を取り入れ、様々な情報の発信や共有もデジタル化を進めています。その様に効率化を図ることでメンバーの皆さんの大切な時間を守る事ができるからです。そして時間に余裕ができれば仕事や私生活が充実し、自然と活気や魅力ある組織になっていくのではないのでしょうか。

また、創立60周年を迎えるにあたり、今一度原点に立ち返ることも大切です。青年会議所の根幹にある「明るい豊かな社会の実現」を目標として掲げてきた組織ですから、創立から今日に至るまでの歴史はなにもものにも代え難いものです。この蓄積された知識や経験は今活動するメンバーの皆さんの助けに必ずなります。なぜなら諸先輩方も同じ道を辿り、私たちと同じ悩みや葛藤があったはずだからです。そこに答えはあります。もしかしたら、今の時代にそぐわないことがあるかもしれません。そんな時は自身でその答えを変えてみましょう。その変化に対応できた時、この太田青年会議所は70年、80年さらには100年と変化し続け、魅力ある組織として未来永劫続いていけるのだと思います。

60年の想いを紡ぎ、青年の力で積極的に新しいものへ挑戦していく、そんな一年間になるよう邁進してまいります。

多くの皆様のご支援、ご協力いただけます様、心よりお願い申し上げます。

公益社団法人
太田青年会議所
2024年度
第60代理事長

大塚 祐輔



山本一太 × 大塚祐輔

群馬県知事

第60代理事長

大塚：本日はお忙しい中お時間をいただきありがとうございます。私たち太田青年会議所としては来年60周年となるところで、人間の年齢で言ったら60歳と還暦を迎えます。還暦というのは新しく生まれ変わるという意味もございますので、群馬県と連携を強めて、太田青年会議所の活動に繋がっていただければと思いますので、本日はいろいろ情報交換という形でよろしくお願い致します。

それではテーマについてですが、2020年の初頭からコロナウイルスの感染拡大もありまして、経済

活動や地域のイベントなども行動制限されている中で、反対にITやデジタル分野が急速に発展したという背景があります。そこで今、知事の進めている新群馬県総合計画の中の一つとして、行政と教育のデジタルトランスフォーメーション推進というものがありますが、デジタルに触れたことがない年配の方や小さいお子さんへのサポートはどのようなものが必要だとお考えでしょうか。

山本知事：もうデジタル化は避けられない流れだと思えます。

パソコンとかネットが得意じゃない高齢者や小さなお子さんにまずしっかりと伝えなきゃいけないのは、デジタル化が何であるかという事。より生活を便利にする、生活しやすくするためであって、すべてをデジタル化するためにするわけじゃないわけですよね。デジタル化をすることによってむしろ毎日の生活の負担が少なくなったり、より良い生活が送れたりするという事を、1人でも多くの人にしっかりと理解してもらう事が必要だと思います。

国民全員にデジタル研修のような事をやるのは無理なので、まずはデジタルって大事だと、使ったら便利になるっていう意識を広げることが大事だと思います。例えばデジタルについて知りたいといったときに、そういう人たちを受け入れる窓口みたいなのは、おそらく各自治体設けていかなきゃいけないし、群馬県もいろんな形でデジタル研修のサポートを市町村に対してやっていますから、そういう相談窓口みたいなものを、群馬県も太田市もより充実させていかなければいけないかなというふうに思っています。

大塚：私たち太田青年会議所としても、コロナの関係もあり、従来、集まって行っていた会議にZoomを活用しました。また今までは紙資料で会議を進めていましたが、今ではアジェンダシステムというものを使って、ネットを見ればどういった事業をこれから展開していくかという議案書を全部確認できるようになりました



山本 一太 (やまもと・いちた)

〔生年月日〕 昭和33年1月24日

〔出身地〕 群馬県吾妻郡草津町

〔略歴〕

- 昭和57年 3月 中央大学法学部卒業
- 昭和60年 5月 米国ジョージタウン大学大学院 国際政治学修士課程 (MSFS) 修了
- 昭和61年10月 国際協力事業団 (JICA) 入団
- 平成 7年 7月 参議院議員初当選
- 平成11年10月 外務政務次官
- 平成15年 9月 参議院外交防衛委員長
- 平成20年 8月 外務副大臣
- 平成24年12月 内閣府特命担当大臣
- 平成28年 9月 参議院予算委員長
- 令和元年 7月 群馬県知事 (2期目)

〔趣味〕 音楽、映画鑑賞、スノースポーツ

〔座右の銘〕 直滑降



た。活用方法はさまざまですが、そういったデジタルの便利さを1人でも多くの年配の方や小さな子供たちに、少しでもデジタルに触れられる機会を私たち太田青年会議所の方で作るような事業なども今後、行っていければと思います。

山本知事：素晴らしいですね。ぜひ青年会議所にもリーダーシップを発揮してもらって、1人でも多くの方にデジタル化は生活を便利にするためにやるんだということを伝えてほしいし、ネットの効果的な使い方みたいものをぜひ1人でも多くの方々に伝えていただければと思います。行政は行政なりに努力しますが、JCの役割がこういう面でもすごく大きいんじゃないかと思いますね。

大塚：ぜひ青年会議所として参考にさせていただいて頑張っていきたいと思います。

続きまして、災害レジリエンスナンバーワンの実現とありますが、青年会議所も2021年に、各地域市町村で災害協定を福祉協議会と結んでくださいという動きがあり、太田青年会議所も太田の社会福祉協議会と災害協定を結ばせて頂きました。日本全国でそういった運動が今、広がっていると感じています。その中で、やはり群馬県は防災に関して少し疎いという印象もありました。そもそも災害が少ない地域と言われている中で、最近では豪雨、土砂災害、川の氾濫等の災害がありました。防災意識が比較的低い中でどういったことをすれば市民の方々の防災意識を高められるとお考えでしょうか。

山本知事：例えば群馬県でいうと、防災の重要性っていうのはいろんなところで発信しているのですが、防災意識を高めるっていうのはやはり日頃からの訓練だと思うんですね。

今、JCが災害協定の中でいろんなシミュレーションをやっているように、もちろん行政としっかり連動しなければいけないと思いますが、例えばこういうことが起こったときには、こういう手順でこういうことをやるっていう避難計画をしっかり作っておくっていうことが大



事だと思っていますね。それから、やはり訓練ですよ。防災訓練というものをしっかりと定期的に行っていくことが大事だと思います。それには行政との協力と連動も必要ですので、地域の防災訓練みたいなことに太田JCも清水市長と協力して行っていけたらいいのではないかなと思います。

大塚：青年会議所としても災害、防災意識を持ってもらうために、関東地区協議会で高校生のネットワークというものを作り、高校生にボランティアとして活動してもらう事で災害というのはこういったものなんだという事を共有してもらい、防災意識を深める活動を行っています。やはりこれからを担う若者たちに防災の意識付けは必要だと思うのですが、その若者たちに対して行政から何か意識付けを行うことはできますでしょうか。

山本知事：そうですね、今後の方針を知事が直接県民に説明する未来構想フォーラム第2弾というものがあって、大体12ヶ所ぐらいの各地域で行っていますが、そういった若者の政治参加もそうだし、行政参加の意識もそうだし、いろんな事業を展開しながら防災意識もあわせて付けていくしかないと思います。また、太田にはあれだけ知恵を持った行動力のある市長がおられるので、清水市長にも色々な知恵を出していただいて、若者にいろんな啓発を呼びかけていくっていう感じが大切ではないでしょうか。そして、若者に意見を届けるのはやっぱりネットだと思うんですね。だから群馬県は新しいメディア戦略を組んで、ユー



山本一太 × 大塚祐輔

群馬県知事

第60代理事長

チューバーと連携したり、ショート動画ディレクターを設けたりして、ネットを使った啓発みたいなものに力を入れてくることが必要だと思います。その過程でJCのような、若者の経営者のグループとも連携しながら、少しでもメッセージの届く領域を広げていくっていうのがいいのではないのでしょうか。

大塚：ぜひ、今後の太田青年会議所の活動の参考にさせていただきます。

続きまして、県民総活躍社会の実現というところで、太田JCとしても青年会議所活動を充実させると同時に、家庭や仕事に負担がかからないようにしていきましょうとか、家族の日を作りましょうとか、子供連れでも事業に参加できるような内容の事業を作っていきますよ、といった多種多様な、現代の若者たちが負担なく集まれるような環境を今作ろうとしているんですけども、県としても県民の総活躍というところで若い子たちにどんどん活躍してほしいという方針だと思いますが、例えばこういった支援やプログラムを構築していくことが重要だとお考えでしょうか。

山本知事：プログラムっていうか、新しい教育イノベーションみたいな事を群馬県から起こそうと思っています。知事として何をやろうとしているかというと、群馬県は非認知能力教育、または社会的情動スキルというのですが、学力とか偏差値によらない。いわゆる、自ら考えて生き抜く能力ですよね。子供たちの能力は千差万別であって、スポーツが得意な子供もいれば、勉強が得意な子供もいる、スポーツとか勉強が得意でなくても、例えば何かすごくアーティストックであったりとか、友達を笑わせるムードメーカーだったりとか、忍耐力あるとか、そういった学力とか偏差値でない能力をもっともっとちゃんと見て、評価をしてあげて、そういう人たちの力を引き出す社会にするべきだと思いますから、それに向かって

いくことが重要だと思います。

大塚：ありがとうございます。

太田青年会議所としてもいろいろな人がいますので、皆さんの個性を活かされるような団体にな

れたらいいと考えます。次にeスポーツについてですが、群馬県でもeスポーツを推進されているとお聞きしたのですがeスポーツをより売り出すためのアドバイスがあれば教えてください。

山本知事：まずは行政を本気にさせることからじゃないですか。例えば太田市がどのぐらいeスポーツを重視しているか、そこまでの意識は多分ないかもしれないから、だから

太田JCがまず努力をして行政に働きかけて、いかにeスポーツが大事かっていうことをまずしっかり伝えないといけないんじゃないですかね。あとは、eスポーツも大事だけど、クレインサンダースの選手をもっと有名にする運動とかやってあげたらいいんじゃないかな。今のところまだクレインサンダースの選手が前橋や高崎を歩いていてもサインを求めて人が集まってこないじゃないですか。そういうのをちょっと助けて、盛り上げていけたらいいんじゃないですかね。

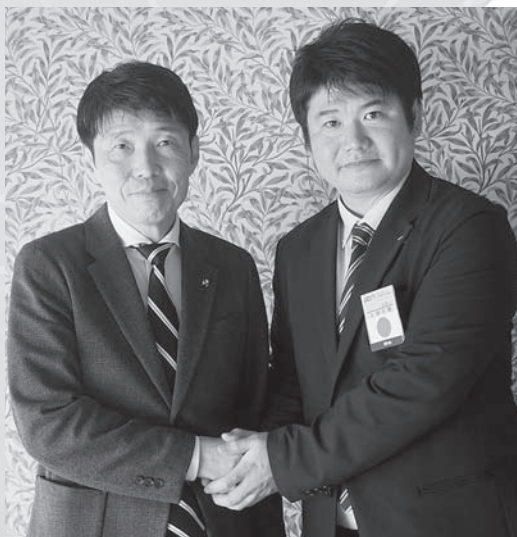
大塚：ぜひ参考にさせていただきます。来年は太田青年会議所創設60周年というところで、子供たちがバスケットをできる大会を企画してまして、そういった所で、バスケットから太田を盛り上げていけたらいいなと思います。

山本知事：いいと思います、子供のバスケットボール大会。あのアリーナでやれるのは素敵ですよ。太田のアリーナは全国的に見ても結構トップクラスの施設ですからね。ぜひ頑張ってください。太田JCにはとても期待しています。

これから共に群馬県、それから太田市を盛り上げていきたいと思います。

大塚：ぜひとも一緒に盛り上げていきたいと思います。

本日はお忙しい申ありがとうございました。



2024年度 委員長紹介



広報委員会



委員長 山越 高浩

明けましておめでとうございます。本年度広報委員会を拝命致しました山越高浩です。2024年度広報委員会では、前年の総務広報委員会から広報単独となった意義をしっかりと理解し、地域の方々が今まで知り得なかった太田青年会議所の魅力をより多くの方へ発信していきたいと考えております。そうすることで地域の皆様から信用、信頼を得られるよう1年間全力で活動して参ります。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い致します。

総務委員会



委員長 鶴貝 智

2024年度総務委員会委員長を務めさせていただきます。鶴貝智と申します。総務委員会では、より良い会議や事業を行う為の土台作り、またメンバーの限られた時間を有効活用できるように事前準備を徹底することにより太田青年会議所のさらなる発展に繋がると信じ、一年間邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

交流委員会



委員長 重原 巧

2024年度交流委員会委員長を務めさせていただきます。重原巧と申します。2024年交流委員会では、様々な交流を通して多様な価値観や経験に触れることで学びを得られ、事業の活性化につながる交流を行って参ります。それらが太田青年会議所の更なる成長につながると信じ、一年間邁進して参ります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

会員拡大委員会



委員長 野上 晃一

2024年度会員拡大委員会の委員長を務めさせていただきます。野上晃一と申します。会員拡大委員会では、自然と新しい仲間が集うような魅力と活気溢れる組織にするべく、まずは当委員会が一番盛り上げていきます。それには、何のためのJC活動なのか?何をしたいのか?を確認しながら意味と目的を明確にし、メンバー一人一人と向き合い、(公社)太田青年会議所の一員であることに誇りがもてるよう一年間邁進してまいります。皆様のご理解ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

研修委員会



委員長 加藤 奈緒美

2024年度研修委員会委員長を務めさせていただきます。加藤奈緒美と申します。2024年度研修委員会では、メンバーが目的までの道筋を立てて実践していただき、何事にも恐れず取り組むチャレンジ精神を育み、様々な学びを取り入れ成長できる機会を提供いたします。メンバーや地域の方が学びを活かし、多くの経験を重ね成長することで、身近な方から更に必要とされる人材となり、延いては太田青年会議所自体がより一層力強い組織となると信じ一年間邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

地域連携委員会



委員長 福島 大樹

2024年度地域連携委員会委員長を務めさせていただきます。福島大樹と申します。2024年度太田青年会議所は60周年の記念すべき年を迎えます。地域連携委員会ではこの1年を通し、60年間への感謝を体現し、地域の方々や関連団体とより一層の関係構築を行って参ります。また、得た知見を会議所メンバーへ伝播させる事で太田青年会議所の成長へ繋がる活動が出来るよう邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

未来創造委員会



委員長 角田 英晃

2024年度地域の未来創造委員会委員長を務めさせていただきます。角田英晃と申します。2024年度地域の未来創造委員会では、若者と協力をして地域の方々がこの街により愛着を持ってもらえるよう活動を行っていきます。また共に活動を行った若者たちが、人生の糧となるような経験を積むことで、よりよい未来への活動の力を養っていただきます。これら活動がよりよい未来を創造することを信じ一年間邁進してまいります。諸先輩方をはじめメンバーの皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

2024年度 出向者紹介



高橋 佑介

(公社)日本青年会議所／国際グループグローバルアライアンス構築委員会／委員長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。本年、日本青年会議所国際グループグローバルアライアンス構築委員会の委員長の職をお預かり致します。当委員会ではアジア太平洋地域における、日本JCと各国青年会議所との民間外交の推進や緊急支援として、日本に入国しているウクライナ避難民の支援を行います。出向先の活動を経て多くの仲間と学びを得て、その経験をまた太田青年会議所に持ち帰って来られるよう、楽しみながら精一杯頑張っております。OB諸先輩方並びに現役メンバー皆さまのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



清宮 豪

(公社)日本青年会議所／群馬ブロック協議会／LOM活性化推進委員会／委員長

2024年度群馬ブロック協議会LOM活性化推進委員会の委員長を務めます清宮豪です。LOM活性化推進委員会では、JCカップU-11少年少女サッカー大会、会員拡大を重きにLOM支援をします。太田青年会議所は、2023年度大幅な会員拡大ができました。会員することで、やりたい事業の選択肢や多種多様な思考を持ったメンバーが増えることで、交流から得られる発展と成長、リーダーシップの開発と成長の機会を提供することができます。青年会議所活動をより良いものにするため、一人でも多くの会員拡大を行う必要があります。熱く頑張りますのでご協力よろしく願いします。また、25歳という若手にこのような成長の機会を与えて頂きありがとうございます。



佐藤 崇史

両毛地域青年会議所協議会／副会長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。2024年度、両毛地域青年会議所協議会において副会長の職をお預かりさせていただくこととなりました。本年度両毛地域青年会議所協議会では、「両毛6JCの可能性を發揮し、更なる飛躍へ」を基本理念とし、両毛という広い地域だからこそできる、地域を牽引する人材を育てるための研修事業、そして各地LOMに友人をつくり、両毛6JCをひとつにするための交流事業という2つの柱で活動してまいります。私は、交流事業の担当として、太田JCのメンバーにも両毛内で多くの友人を作っていただくべく尽力してまいりますので、現役メンバーの皆様のご支援、OB会の皆様からのご指導ご鞭撻のほど、心よりお願い申し上げます。

2024年度 出向者一覧

| (公社) 日本青年会議所 | | | | | |
|-------------------------------------|------------|--------|--------------------------------|------------|-------|
| 委員会名称 | 役職 | 氏名 | 委員会名称 | 役職 | 氏名 |
| 国際グループ グローバルアライ アンス構築委員会 | 委員長 | 高橋 佑介 | 国際グループ グローバルアライ アンス構築委員会 | 総括幹事 補佐 | 和田 泰義 |
| | 総括幹事 | 橋本 正由樹 | | 委員 | 吉田 聡 |
| | 総括幹事 補佐 | 茂木 将多 | | 委員 | 田口 実穂 |
| | 総括幹事 補佐 | 山田 宗平 | | | |
| 群馬ブロック協議会 | | | | | |
| 委員会名称 | 役職 | 氏名 | | | |
| 群馬の未来創造委員会 | 委員 | 村田 祐輔 | | 監事 | 柳 大介 |
| | 委員 | 山田 崇史 | | 副会長 | 佐藤 崇史 |
| LOM活 性化 推 進 委 員 会 | 委員長 | 清宮 豪 | 両毛ひとづくり委員会 | 副委員長 | 武藤 仁也 |
| | 総括幹事 | 谷内 健人 | | 委員 | 大川 翔平 |
| | 会計幹事 | 設楽 祐介 | 委員 | 山田 圭佑 | |
| | 委員 | 金谷 圭祐 | 両毛交流委員会 | 委員 | 金井 政和 |
| 委員 | 島倉 淳由美 | 委員 | | 白根 虎之助 | |
| 事 務 局 | 事務局員 | 岡部 隆道 | 事 務 局 | 事務局員 | 池戸 潤 |
| | 事務局員 | 小島 圭介 | | 事務局員 | 田辺 雄大 |

